

## 原点を大切にしたい

副会長 松村滋子

季節が変わった。3月から4、5月になると四季の変化を存分に楽しめる高知に住む幸せを感じる。昨春は30周年記念事業を終え安堵と高揚感に包まれていたが、あれからもう1年経つのかと時の速さにため息が漏れる。

さて5月総会も近い。30年度は現体制の締め括りの年になると思われるが、今、私の手元には美しい曼荼羅絵の表紙の30周年記念誌がある。それは要約筆記で出会い、その道を共に歩んだ先輩や仲間たちとの思い出を形にしたものであり、大仰に言えば私にとり抱きしめたいほど大切な宝物となっている。

その記念誌発刊のためにお借りした高知県難聴者・中途失聴者協会の草創期の資料には、聴覚障害者としての思いが綴られたメモやノートなどがあった。「要約筆記者は聴覚障害者の耳代わりとなって話をわかるように書いてほしい。文字の巧拙ではなく伝えるという意識を持ってほしい」という、今も昔も変わらない思いが綴られていた。

草創期の資料の中の聴覚障害者の言葉は、広報4月号に掲載された廣田副会長の「スクリーンは何のためにそこにあるのか、誰のためにか・・・云々」という思いに、いみじくも通じるものがある。要約筆記技術は日進月歩研究され速いスピードで進歩している。だからこそ、いたずらに技術のみに先走ることなく、常に聴覚障害者の存在を意識し見据えていかねばならないし、私たち要約筆記者はその使命と支援のなんたるかを繰り返し自己に問い続けていかねばならないと思う。

やまもも会員  
5月現在 62名  
(内 賛助会員4名)

### <要約筆記 高知・やまもも のできごと>

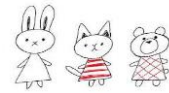
平成15年 (2003)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣数 78件 (含 養成講座講師派遣)</li> <li>・かたつむり教室支援</li> <li>・養成講座新カリキュラム 52時間</li> <li>・現任要約筆記者補講 20時間</li> <li>・会長 松村滋子</li> </ul>
-----------------	---



\*\*\*\*\*

## 平成 29 年度全要研・高知支部研修会講演

### 「聴覚障害者が長く安定して働くために」の感想です！



\*\*\*\*\*

「聴覚障害者が長く安定して働くために」に参加して 伊東美智子

このテーマを見た時、即座に参加を決めました。

聴覚障害者は社会のあらゆる場でコミュニケーションの壁を抱えています。生の会話を耳から覚えられずコミュニケーションの力がつきにくいのです。支援も行き届かず、又聴覚障害者自身が学ぶ場もなく常々はがゆく思っていました。

「いそひと」がそのはがゆい所に視点に置いて、教育と支援に力を入れていることを知り本当に嬉しく思いました。表現力を学び助けがいがあると言ってもらえるように 将来ある聴覚障害者の皆さんに頑張ってもらいたいと思っていました。

日本語が好きになれた楽しい研修でした。ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

「説明力の大事さ」 平岡加代子

平成 29 年度全要研支部研修会の講師として、聴覚障害専門の就労支援をされている「いそひと大手町」施設長の戸田重央さんをお招きしました。穏やかで親しみやすいお人柄。そして、要約筆記者として「聞いて良かった！」と思えるお話が聞けました。

人に何かを伝えるためには説明力が必要であり、それはコミュニケーション力でもあること。説明するためには、何についての話なのかを、意味の理解できる言葉で、論理的に伝える力が必要であること。そのためには自分の語彙を増やさねばならない。と、まさに要約筆記の学習につながる内容でした。「人は自分の持つ言葉でしか思考できない」。常に頭にある一文ですが、今回のお話で改めて納得しました。語彙力を身に着けるべく更に努力し、戸田さんの言われた双方向のコミュニケーションの気持ちを活動に生かしたいです。

\*\*\*\*\*

「全要研高知支部研修会」 小倉雅子

東京にある「いそひと大手町」の戸田施設長さんを講師にお迎えし、去る 3 月 10 日支部研修を開催した。テーマは、「聴覚障害者が長く安定して働くために ～説明力の大事さ～」。聴覚障害者の就労支援という全国的にも珍しい事業を展開するいそひとでは、自己擁護力を身につけ「助けられ上手」になることを支援しているという。その基礎となるのが説明力であり、自分の聞こえを客観的に把握することも大切とのことだった。説明力を伸ばすには語彙を増やすことが重要で、言葉を増やせば物事の判断の幅も増えるとか。語彙を引き出す練習、説明力を上げるゲームでは参加者全員で盛り上がった。「説明の技術」は要約筆記者養成テキストにもあり、語彙力とともに我々にとっても重要なもの。台風で半年遅れの開催となったが、感情の階段を彩りよくすれば楽しい人生が送れるという戸田さんのことばと温かい笑顔が心に残る、大変有意義な研修会だった。

\*\*\*\*\*



人・ヒト・ひと

横顔-17

前田龍一 さん

★マジメ！FBを見ると語らずしても趣味豊富、特技多彩とお見受けします。口コミレビューでは“誠実穏やか笑顔優しく、その人柄はPCチームで存在感大”。場の雰囲気作りにその力が働きそうです！



■入会年は？／小倉さん、烏谷さんたちと同期です。同期の方が沢山頑張られているので嬉しいです。

■趣味は？／マラソン、筋トレ、音楽、カフェ・スイーツめぐり等々。多趣味なのでここには書ききれません（笑）

■嫌いなことは？／約束が延期になったり、なくなること。  
(なので自分からはめったに誘うことはありません。)

■習慣／仕事の電話で要件が終わり受話器を置いた後、無意識に「よいしょ～」と言うこと。  
(受話器が重たいのか、重要な話が多いからなのか・・・謎です)

■理想のタイプ／感情的にならない人。約束を軽く考えない人。

■いけないと思いつつやってしまうことは？

／休日の予定を沢山入れてしまい弾丸行動になること。(前日や当日の朝にSNSの投稿を見て予定を立てるので、いつも行き当たりばったりです。)

■自分の性格は？／淋しがりやの意地っ張りです。

★次回をお楽しみに

## 読書

『羊と鋼の森』 宮下奈都 著

入口愛美

ピアノの調律に魅せられた新米調律師の青年の物語です。題名からストーリーの想像がつかず、手に取りました。

この物語は、青年が先輩やお客さん、周囲の環境、ピアノの調律…と沢山の出会いから見てきた人としての在り方や生き方について、丁寧に表現されています。

この春、新しい一歩を踏み出そうとしている方にお勧めの一冊です。

## 掲示板

敬称略



### ◆ やまももの拠点 県立塩見記念青少年プラザへの移転

耐震化改修工事が間もなく完了し、建築業者から県への引き渡しが予定されているそうです。それを受け5月には各入居団体が引っ越し開始。本会もその準備が始まります。

小津教室として各会合等にご利用ください。

利用の詳細：6月号でお知らせします。

### ◆◆平成30年度約筆記者養成講座開講

5月20日(日)～11月18日(日)全29回  
高知市障害者福祉センター  
9:30～12:30

皆さんの周りで興味、関心のありそうな方にぜひ声かけしてください。  
仲間を増やしましょう！



30年5月 活動予定

日・曜	会 合 名	時 間	場 所
12日(土)	土曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター
13日(日)	総会・理事会・理事例会	10:00~16:00	障害者福祉センター
17日(木)	木曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター
20日(日)	要約筆記者養成講座 第1回	9:30~13:00	障害者福祉センター
24日(木)	木曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター
27日(日)	要約筆記者養成講座 第2回	9:30~12:30	障害者福祉センター
31日(木)	木曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター

30年4月 活動追加

日・曜	会 合 名	時 間	場 所
7日(土)	PC勉強会	13:30~	障害者福祉センター
18日(水)	ノートテイク		
21日(土)	幕末セレモニー・開幕イベント	10:00~12:00	県立坂本龍馬記念館

◆平成29年度全国統一要約筆記者認定試験合格者(敬称略)

手書き:長屋春香

★おめでとうございます。活動に期待します!



5月歳時記(皐月・さつき)



早苗を植える時期「早苗月(さなえづき)」を略したもの。

耕作を意味する古語の「サ」が元になっているという説もあります。

※「皐月」の”皐”には「神に捧げる稲」という意味があります。

季節:初夏(しよか) ※立夏から芒種の前日まで。



《まっぴや》

■数年前、徳島との県境の小松曾山へ登った。途中男性7人グループに追い越された。頂上に着いたとき彼らは昼食をとっていた。伊野の消防士の訓練登山のようだった。私たちもと昼食の準備をしていると突然山の下からすごい爆音が聞こえてきた。本能的に声もなく地面に伏せた途端、すぐ横を黒い塊がぶっ飛んで行った。戦争が始まったのかと思っただが、一同声も出なかった。岩国から飛んで来た訓練機と知ったがとにかく、まっぴや怖かった。(美) ■私の移動手段は自転車である。これに乗れなければすべての活動は終了。足も腕も痛い。もう無理かと悩んでいたら、電気自転車を買えと言う。そう、最後の切り札として。ところが想像していたものとは違う。電気アシスト、あくまでも助けであって電気で走るわけではない。踏まねば走らず、坂道や強風以外頼ることはない。車体の扱いは重い。一長一短の代物である。(善)

■久々に娘から電話。元氣かねの問いに重い荷物を持ち思いがけず腱鞘炎に苦しんだと答えた。これにキャリーバッグ(いわゆるコロコロ)を勧められる。近頃お酒落な品もあると念押しをするので、どうも老人ぼくはまだ使わないと返答する。するとすかさず見事に老人じやないのよ、と言う。ためらわず見事にか。誠に親の顔が見てみたい。(滋) ■数年前から庭の一隅に群れて咲く花がある。芳香あり丈高くやや緑がかった淡い黄色の花々。花名を知る術もないまま今年も咲いた。思い切って検索を重ねるうちグラジオラスの原種系とわかった。南アフリカにその7割が自生し中央ヨーロッパなどに分布・が、何故うちの庭に??? (三)